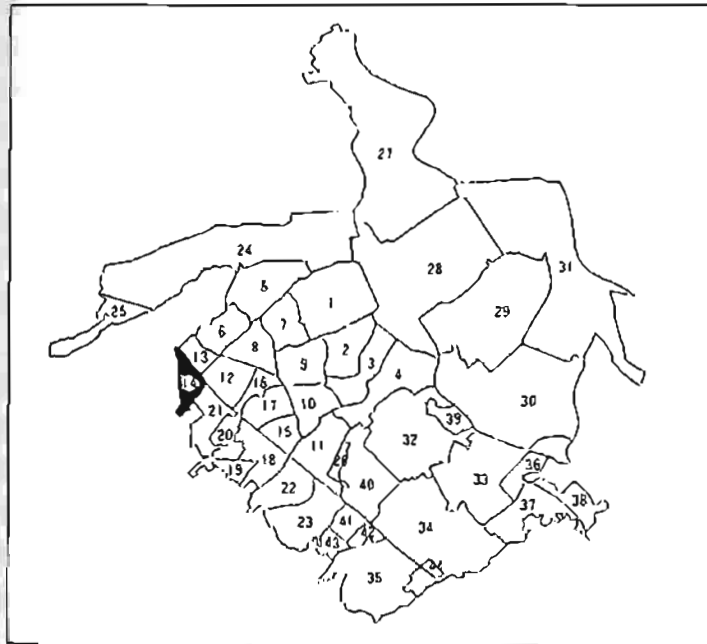


概況

上沢3丁目町会は、富士見市の西部に位置し、北側は東武東上線に沿って、北から南へ低位段丘、浅い谷（浸食凹地）が、西側は大井町に面した台地（台地段丘）で形成されている。東側には南北に東武東上線が通り、南側には住宅地に囲まれた上沢小学校がある。環境は、良好な地域である。昭和34年以前は農村地であった。しかし、低位段丘、浅い谷の低地は宅地化が進み、住宅が増加している。南部にはまだ畑が残っているが、将来この区域は宅地化されて、町会全体が住宅密集地化する傾向にある。水害は、砂川堀の整備でなくなった。しかし、地震災害は、北部の住宅密集地で家屋の倒壊、出火、延焼の危険性がやや高いと予想される。

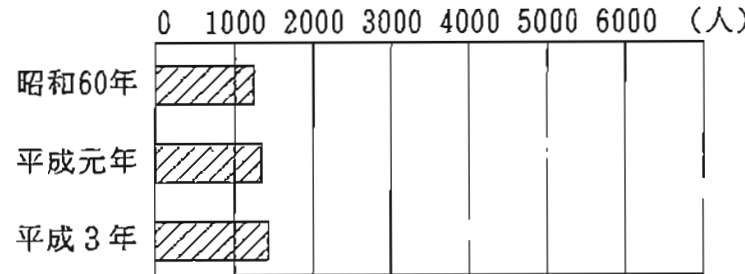
位置図



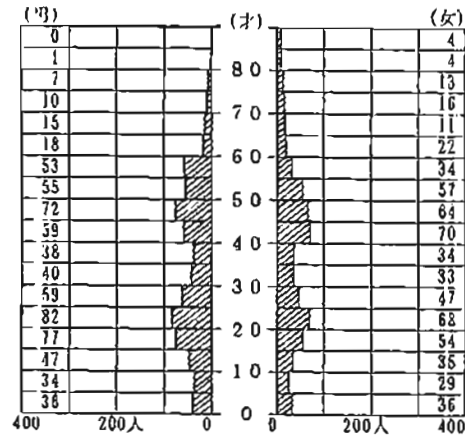
1. 基礎指標

・面積	0.133km ²
・人口(平成3年10月1日現在)	男 701人 女 627人 計 1,328人
・人口密度	9,985.0人/km ²
・覆たきり老人数	0人
・ひとり暮らし老人数	3人
・世帯数	454世帯

人口推移

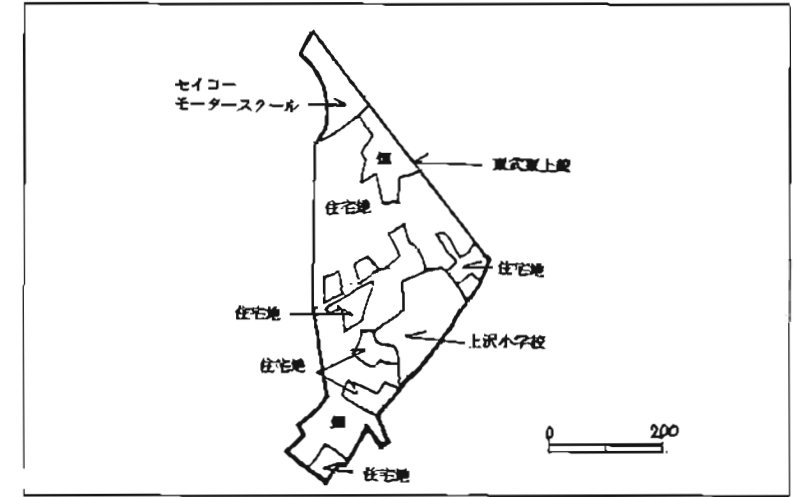


年齢別人口(平成3年)

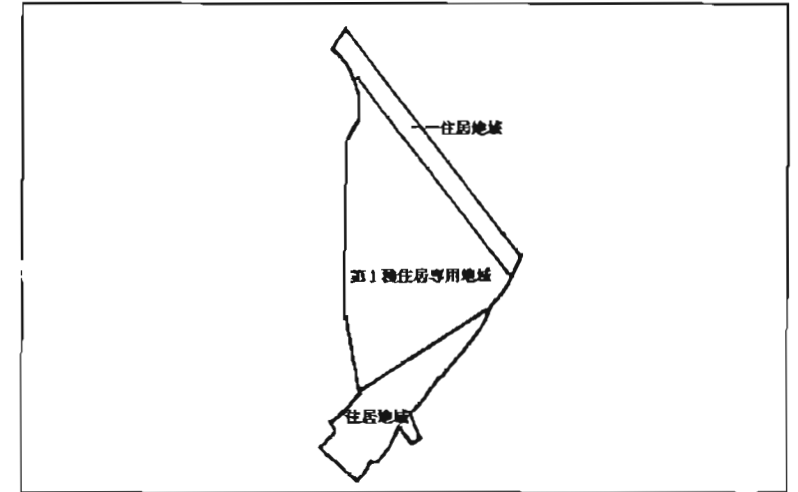


・商住工混在率住居系	96.0%
店舗系	2.3%
工業系	1.7%

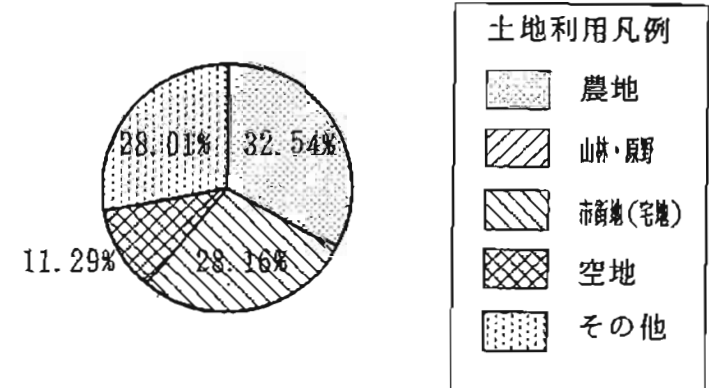
町会現況図



用途地域図



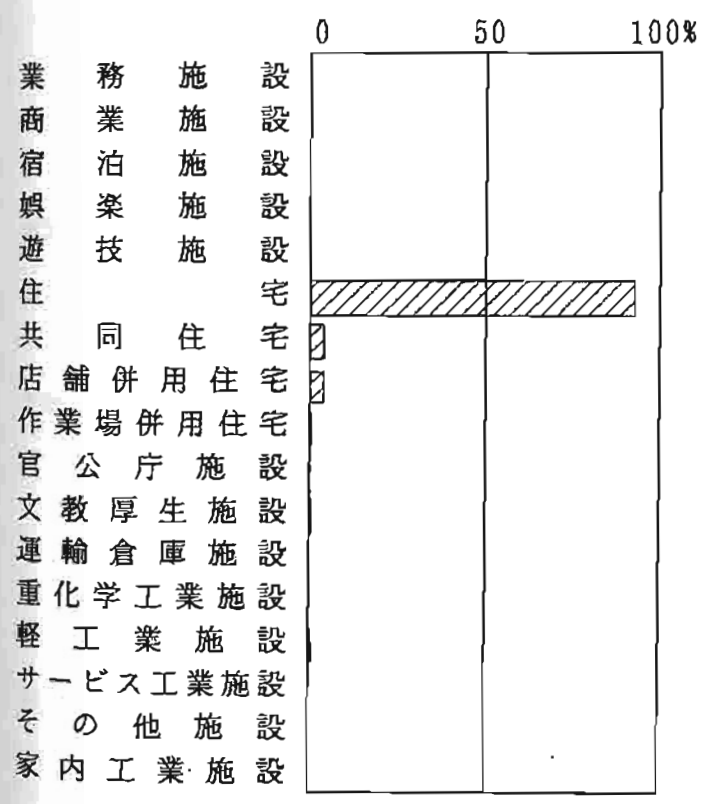
土地利用現況



2. 建物指標

・建物棟数	473棟
・木造建物	452棟
・非木造建物	21棟
・建物面積	16,254.46㎡
・木造建物	14,826.39㎡
・非木造建物	1,428.07㎡
※建物面積は1階の面積	
・住宅率	93.0%
・木造率	95.6% (452棟)
・昭和34年以前の木造家屋実棟数	6棟
・同上率	1.3%
・建物階層別現況 (木造建物)	
1階	105棟 23.2%
2階以上	347棟 76.8%

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

・道路率	30本	225.6本/㎢
・幹線道路率	1本	7.5本/㎢
・公共空地面積	12,260.0㎡	
・公共空地率	9.2%	
・1人あたり公共空地	9.2㎡/人	

・公共空地内容 (*指定避難所)

名称	面積
1. 高校	0㎡
2. 中学校	0㎡
3. 上沢小学校*	12,260.0㎡
4. 公園	0㎡

4. 消防指標

所轄消防署	入間東部地区消防組合富士見消防署
応援協定	所沢市、川越地区消防組合、新座市、志木市各消防本部
・消火栓本数	12本
・1消火栓あたり世帯数	37.8世帯/本
・消防水利貯水施設数	0 (0) か所
() 内は容量40トン以上の施設数	
・消防団機械器具置場	0

5. 危険物指標

・給油取扱所	1か所
・一般取扱所	1か所
・屋内・屋外(タンク)貯蔵所	0か所
・地下タンク貯蔵所	0か所

6. 既往災害

家屋浸水被害	床下	床上	道路冠水
昭和51年 9月(櫃17号)	26棟	0棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
崖崩れ被害 (年 ~ 年)			0件
火災出火件数 (年 ~ 年)			0件
・1923関東大地震被害			
家屋全壊			0戸
家屋半壊			0戸
被害率			0%

7. 防災基盤施設

消 防	0か所	
病 院	0か所	
医 院	0か所	
休日診療所	0か所	
警 察	0か所	警察署 派出所
水防施設 その他の施設	0か所	
・自主防災組織(数)	上沢3丁目町会防災班	1
・自主防災組織参加世帯率	99.1%	
・飲用井戸本数	0本	

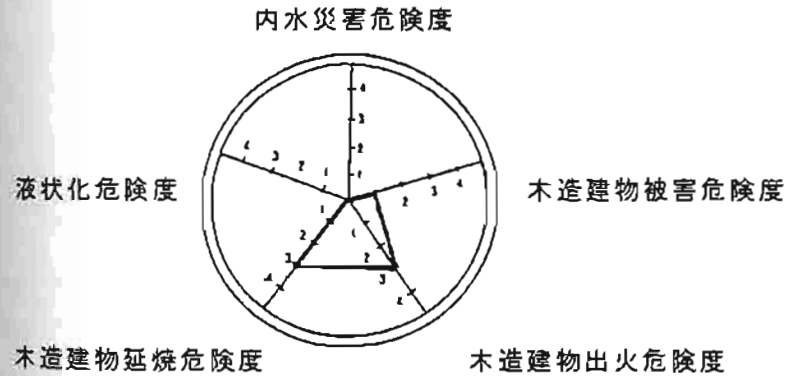
8. 危険度評価

・内水災害危険度	0ランク
・外水災害危険度	0ランク
・土砂災害危険度	0ランク
・木造建物被害危険度	1ランク
・木造建物出火危険度	3ランク
・木造建物延焼危険度	3ランク

地盤 危険度	地盤の地震動 危険度	1ランク
危険度	液状化 危険度	0ランク

※ 危険度評価ランク

危険度	無	微	小	中	大
ランク	0	1	2	3	4



※ 想定震度 5(+) (強震(強))

9. 地盤条件

地盤条件は、町会全体が台地で硬く良好である。ただし、北部の一部は、浸食斜面や浅い谷となっているため地盤が軟らかいところがある。このため地震による震度は台地部で5(+) (強震の強い方)、また北部の一部で6(-) (烈震の弱い方) と予想される。

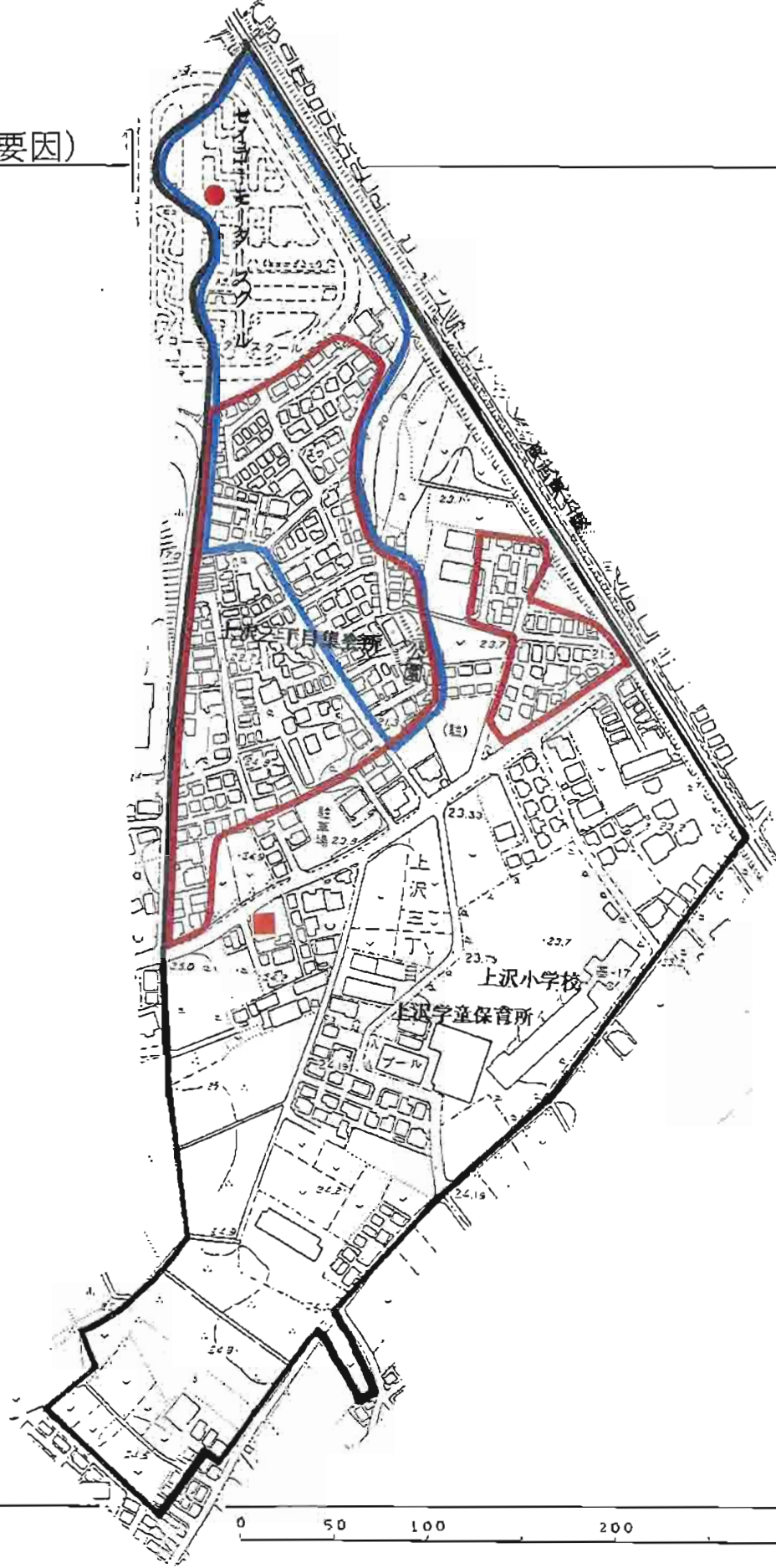
10. 問題点の整理

災害発生要因		災害抑止要因	
1. 内水災害	少ない。	1. 水防能力	水防施設は無い。
2. 外水災害	無い。	2. 防災組織	上沢3丁目町会防災班が組織されている。
3. 倒壊危険	地盤条件が良いので危険性は低い。ただし、北部の古い木造建物が倒壊する恐れがあるので注意を要する。	3. 消防能力	消防水利貯水施設が無いので、消防能力は低い。
4. 出火危険	北部の住宅地(木造家屋密集地)で出火の危険性がやや高いと予想される。	4. 防火能力	木造家屋密集地域の防火能力は低い。
5. 延焼危険	不燃領域率が50%~70%と見込まれるため、延焼の危険性が北部の住宅地(木造家屋密集地)でやや高いと予想される。	5. 避難収容力	避難所は、上沢小学校が指定されているが、鶴瀬西3丁目東、鶴瀬西3丁目西町会と共有するため収容力は低い。 1人あたりの公共空地は9.2㎡/人と見込まれる。
6. その他の災害	無い。		

11. 解決の方向性

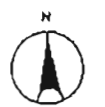
北部の住宅地で地震火災の危険性がやや高いと予想されるため、これら住宅地の不燃化の促進、住宅地内生活道路の消防活動に支障をきたす駐車、駐輪の防止が望まれる。
避難可能な道路は、避難所(上沢小学校)が近いため、問題はないと思われる。ただし、住宅内生活道路の狭小化予防対策の指導は欠かせない。

防災現況図A(災害発生要因)



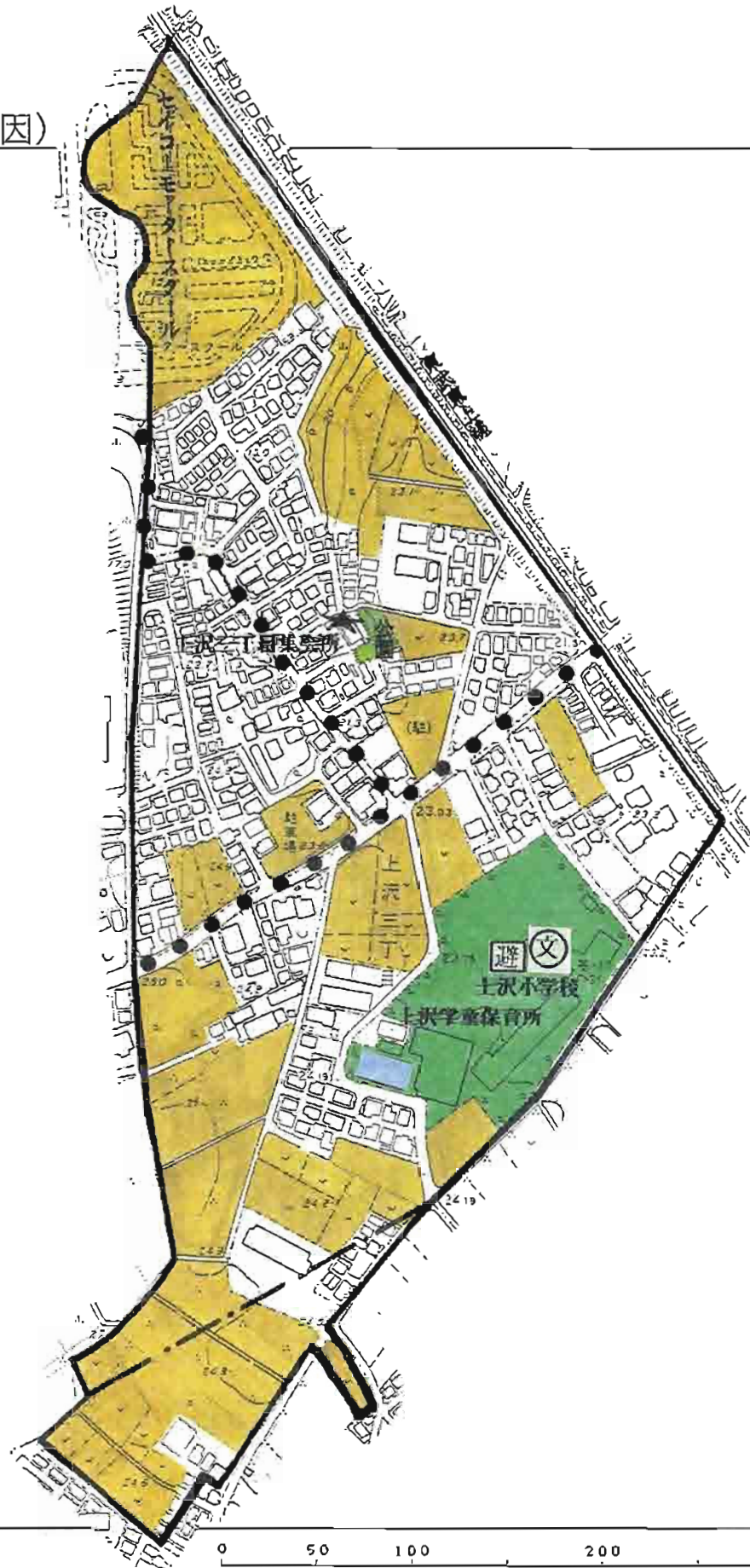
凡 例	
●	給油取扱所
■	一般取扱所
⚠	危険物屋内タンク貯蔵所
⚠	危険物屋外タンク貯蔵所
⚠	危険物地下タンク貯蔵所
▲	L P G 充 填 所
△	橋 梁
▽	横断歩道橋
△	立 体 交 差
■	木造家屋密集地域
—	河川・水面
⚠	急傾斜地崩壊危険区域
■	盛 土
■	浅い谷・低地(谷底平野)

既往浸水域(平成3年台風18号)	
■	田の浸水地域
■	田の被害区域
■	畑の被害区域
■	床上浸水地域
■	床下浸水地域



0 50 100 200 300 400 500m

防災現況図B(災害抑止要因)



凡 例	
	消防署・出張所
	消防団機械器具置場
	水防施設
	防火水槽・プール
	警察署・派出所・駐在所
	市役所・出張所・公民館
	防災行政用無線子局位置
	コミュニティ・集会施設
	保健所・保健センター
	病 院
	医 院
	休 日 診 察 所
	指 定 避 難 所
	公 園
	河 川 ・ 水 面
	避難可能な道路
	幅員12m以上の道路
	幅員12m以上の道路 (計画中)
	学 校 (小・中・高)
	空地・水田・畑

